

ごあいさつ



関東テニス協会 会長

明石 康

第22回関東実業団対抗テニスリーグ戦が、9月7日～9日の3日間にわたり栃木県総合運動公園テニスコートで開催されますことは誠に喜ばしく存じます。

本大会は関東地域一都七県の実業団の代表、男子16チーム・女子12チームが出場する社会人の団体戦で、今年で第22回目を迎え、大会の内容も大変充実してまいりました。

選手の皆さんは、この厳しい経済情勢の中において平素社会人として勤務のかたわら、忙しい時間を割いて練習に切磋琢磨され、各都県大会を勝ち進み、この大会に都県の代表として出場されました。

この大会の成績により、上位の男子3チーム・女子4チームは、来る10月11日から行われる第21回全国実業団対抗テニストーナメントの出場権が得られ、さらに第22回テニス日本リーグへの道にも通じている、誠に意義のある大会であります。

団体対抗戦は、国別対抗戦（デ杯・フェド杯）のように個人戦では見られないような盛り上がりがあります。チームの一体感は選手のみならずすべての人に感動を与えてくれます。

出場される皆さんは、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され、すばらしい試合を展開されますことを期待いたします。

また、各実業団テニス部におかれては、地域のテニスの普及と拡大・技術の向上に多大な貢献をされており、また、皆さんの手で育ててこられたこの大会が益々発展することを心から祈念いたします。

なお、この大会の開催にあたりご協賛いただきましたSRIスポーツ株式会社、株式会社ダンロップスポーツの皆様、運営でご協力いただきました栃木県テニス協会をはじめ、多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。